

安全確保と環境配慮を経ても使用できる。「環境配」あるためだ。駐車スペース発生する産業廃棄物の減量
営の重点テーマに位置づけ慮に公私の別なし。就業時が小さくて済むメリットも化にも取り組んでおり、今
る有力コイルセンターの根間内だけじゃ片手落ち「根ある」。

区東日暮里、社

長・根津訓光

氏)は、営業車

を環境負荷の低

いハイブリッド

カーに順次、切

り替えている。

約3年前にトヨ

タのプリウスを

導入して以降、

現在までに計12

台。今後も全拠

点で台数を増や

していく考えだ。

ハイブリッドカーは、低

燃費・低排出ガスなどの環

境性能を備えた次世代実用

車として注目され、普及が

進んでいる。

社用車ではあるが、社内
規定に基づき自家用車とし

根津鋼材

営業車をハイブリッドカーに

津鋼材(本社・東京都荒川

このほかにも加工現場で

は従来に比べて「発生率20

%削減」を義務
づけている。

「地球にもや
さしく、人にも

やさしい」を実行するには、
作業環境整備も重要。加工
設備の回転体周辺の安全防
護柵の設置は着々と進行
し、事務作業の自動化・省
力化にも投資を惜しまな
い。

同社は環境ISO認証を
取得済みで、経営理念にも
「地域社会・環境を大切に
する」を掲げてある。「資
源・エネルギーの節約など
地球環境の保全に徹力なが
ら貢献し続ける義務と使命
がある」との認識は、
トップ以下全社員への周知
徹底が図られている。



ハイブリッドカーの導入が進む根津鋼材

3年で12台導入 環境配慮を重視